

六月二〇日

昨日は昼にカンボジアの渋井修さんと会って、ひろしまハウス建設のこれからの事など相談。夕方横浜で星の子愛児園入札の件で打合わせ。

東京圏では横浜マツダ研究所の建築が私の建築としてあるが、アレは建設費（コスト）までコントロールできなかったから満足なモノにはならなかった。早稲田観音寺は小さい。

星の子愛児園は今の私の研究室には丁度良いスケールの建築で、今年の前半はコレで楽しめるだろう。七月一日の着工に向けて、先ずコストコントロールから始めなくては。世田谷村で開発した鉄のモノコックボディーや開口部キット、これから開発する照明器具キット等を組み込み、価格体系の一部を震わせてやる。時期的には開放系技術をわかりやすく示すに今は良い。ゼネコン改変への一矢を提案することになるだろう。

ツリーハウス・ヘレンケラ・記念塔・ひろしまハウス・星の子愛児園の流れは、コレで出来る。治療する建築の治療の対象はゼネコンでもあるのだから、ゼネコンの使い方をキツチリと示さなくては。

今夏の早稲田・バウハウス・スクール八月末の五日間は宮脇愛子さんが来校されるので、それに合わせて教師をセレクトしなければならぬ。山口勝弘、高橋悠治に頼むか、一気に若がえさせるか思案の最中だ。アートの世界も圧倒的な人材不足だねマツタ

ク。

世田谷村屋上で考案中のビニールハウスパイプを使った、えんどう豆の防護ネットは笑っちゃえる形にしたい。かかしが歩いているみたい。面白おかしい緑の物体が毎夏、我家の屋上に出現するのは地域サービスだ。家を眺めて笑ってもらえりゃあ、これにこしたことはない。建築版愛宕山だね。志ん生の語り口。

藤森照信の「一本松の家」はギャグだけれど、ウチはせめて落語まで持って上りたい。

午後銀座で毎日新聞編集委員佐藤健、真栄寺住職馬場昭道、両氏と食事。佐藤健の阿弥陀の道プロジェクトの壮行を祝す。